

平成25年度 新潟市北区文化会館 事業報告書

事業	実施日	会場	対象	入場者数	内容
<鑑賞事業> 奏語り 凧がらめ	7月20日 (土曜)	北 区 文 化 会 館	全席指定 一般2,000円	126人	語りと3種類の楽器とのコラボレーション。原作は能楽師の高井松男氏。物語は盲目の少女と経済的には恵まれないが心豊かな青年とのかすかな恋物語である。舞台背景には、この物語のテーマとなる大きなツバキが一輪。照明はこの花をより象徴するかのように赤く染め上げていた。静かな語りと様々なシーンに挿入されるパーカッションとベースと笛により、精度の高い舞台が創り上げられた。 なお、見附市アルカディアホールと北区文化会館との初の連携公演となった。
<鑑賞事業> 中国雑技団 中国 四千年の歴史を舞 台で再現	7月28日 (日曜)		全席指定 一般4,000円 中学生以下 1,000円	294人	公演をおこなった中国太陽芸術団は、中国国内で一流の教育を受け、研鑽を重ねてきた芸術家たちにより、1990年に結成された。演目は、ハラハラドキドキの雑技、豪快な武術、中国の国宝と言われる京劇、優雅な舞踊、心に響く民族音楽、情熱的な歌、獅子舞、龍の舞、少数民族舞踊ファッションショーなど、古典から新しいものまで多彩なラインナップで、中国四千年の歴史を再現した内容であった。 なお、当初公演を予定していた中国四川省伝統芸術団が、日中関係の悪化にともない来日できず、中国太陽芸術団が公演をおこなった。
<鑑賞事業> あかい壁の家	8月18日 (日曜)		全席指定 一般4,000円 高校生 3,000円 中学生以下 2,000円	489人	渡辺えり氏のエンターテインメント企画集団「オフィス3〇〇(さんじゅうまる)」による音楽劇。内容は、渡辺氏の独特な世界で、誰しも分かりやすいとは言いがたかったが、概ね好評であった。終演後、友の会会員との記念撮影と短い時間だが茶話会を開くことができた。そのなかで、渡辺氏は「こんな世界もあることを知って貰いたい」との談話を残している。 なお、作・演出の渡辺氏がNHKテレビに出演していたことでより話題となり、チケットの売れ行きも好調であった。
<鑑賞事業> 第3回北区ジャズ 祭り	8月24日 (土曜) 25日 (日曜)		8月24日 一般700円 中学生以下 300円 8月25日 一般1,500円 中・高校生 800円	463人	8月24日は「夕焼け小焼けのロビーコンサート」と銘打ち、風除室2の前に平台で舞台を組み、夕焼けを表す照明も仕込む、かなり本格的なコンサート会場を作成した。100余席の客席もおおよそ埋まり、ロビーコンサートは大いに盛り上がった。 8月25日、過去2回出演してくれていた地域のバンドに加えて、井上ヒロキビッグバンドが来館し、さらに大きな盛り上がりを見せた。
<鑑賞事業> 毬谷友子一人芝居 弥々	9月4日 (水曜)		全席自由 2,000円	98人	本作品は練習室1で上演された。広くない会場であったが、様々な会場での上演キャリアがあり、舞台、照明、音響は本格的なものであった。 お客様からは「今年観た中で一番」との声を聞くこともできた。一人芝居がどれだけ区民に受け入れられるのかが多少不安もあったが、幅広い文化を受け入れる土壌があることを確信することができた。
<鑑賞事業> チェコ・フィルハー モニー室内合奏団 2013年日本公演	9月29日 (日曜)		全席指定 一般 4,000円 高校生 2,000円	222人	チェコ・フィルハーモニー室内合奏団は、名門「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」のトップ弦楽器奏者により1980年に設立された。豊かな伝統に支えられ、多くの優れた弦楽器奏者やアンサンブルを輩出する「弦の国」チェコを代表する弦楽合奏団である。演奏活動は、チェコ国内のみならず、ヨーロッパ各国や日本などで頻繁におこなっている。 今回は、バッハ・モーツァルトなどの古典を中心に、現代曲まで幅広いレパートリーで観客を魅了した。
<鑑賞事業> 楽(あそび)の庭シ リーズ2 越後の綾 子舞と韓国の伝統 舞踊	10月20日 (日曜)		全席指定 一般 前売り2,000円 中学生以下 前売り1,000円	360人	楽(あそび)の庭シリーズは、古典芸能を舞台芸術として作品化させ、次世代に継承させる目的を持っている。本シリーズ第2弾である本作品は、昨年度の「狂言のおしえ 良寛のころろ」に引き続き、田村氏の演出であった。日韓の伝統舞踊の融合というかつてない舞台芸術の創造に取り組んでもらったが、大変質の高い作品を創りあげてもらうことができた。

事業	実施日	会場	対象	入場者数	内容
<鑑賞事業> こどもステージ おばけリンゴ	平成26年 1月18日 (土曜)	北 区 文 化 会 館	全席指定 一般2,000円 小学生以下 1,000円 親子ペア券 2,800円	507人	ヤーノシュの絵本「おばけリンゴ」から詩人の谷川俊太郎氏が俳優岸田今日子氏の依頼を受けて、子供たちの為に戯曲化した作品。外見からくる差別や人の生き方についての強いメッセージが込められており、子ども向けではあるが、大人の鑑賞にも十分に堪えられる作品であった。 親子ペアチケットの販売が、全体の75%程度となったことから、親子で鑑賞できる作品がいかに望まれていたかがわかった。
<鑑賞事業> 第4回新春北区落語まつり	平成26年 3月2日 (日曜)		全席指定 一般3,500円	566人	今回の出演は、例年の春風亭昇太氏と春風亭小朝氏の2人。小朝氏は著名な落語家のためチケットの売れ行きは良かった。 両氏の芸の水準は非常に高かった。また、紙切芸を始めて見た観客からは驚きと感動の声があがっていた。舞台と客席が近い北区文化会館ならではの芸であった。
<鑑賞事業> 谷村新司 トーク &ライブキャラバン ココロの学校	平成26年 3月15日 (土曜)		全席指定 一般5,000円 高校生以下 4,000円	553人	本公演は、学校を模した形で、谷村新司氏と地域住民がふれあうことを目的としたコンサート。谷村氏が校長、他の出演者が生徒という設定となっていた。 平成24年度に結成された「北区少年少女合唱団」が出演し、谷村氏と一緒に歌を歌った。さらに、トークの場面では、谷村氏と合唱団のやり取りで客席を沸かしていた。
<創造事業> 第1回北区うたの 祭典	12月23日 (月曜)		全席自由 一般 1,000円 中学生以下 500円	518人	北区内で活動している3つの合唱団と平成24年度に結成された北区少年少女合唱団が参加し開催された。また、伴奏は北区フィルハーモニー管弦楽団が担当した。 公演内容は、二部構成で、一部は各団体の持ち歌を歌い、第二部は、全員でミュージカル「サウンドオブミュージック」の中から5曲を歌った。 北区で活動している団体が主な出演者であったため、会場は満席となり、大いに盛り上がった。
<交流・発信事業> 北区音楽祭 2013	11月10日 (日曜)		北区民 無料	1,303人	参加団体26、キッズダンス、バレエ団と音楽に関係する団体や個人を含む幅広い区民が参加する北区音楽祭。年々参加者が増え、持ち時間も短くはなっているものの、区民が楽しみに参加してくれるのは、本事業が北区において定着し、大きなイベントとなっていることの証である。参加者の協力も運営に大きく寄与している。実行委員会、公民館との協力体制を今後も強化し、区民が目標としている音楽祭をより充実させていくことを目標とする。
<交流・発信事業> 北区フィルハーモニー管弦楽団 第3回ファミリーコンサート	12月8日 (日曜)		全席自由 一般 1,000円 高校生以下 500円	513人	北区フィルハーモニー管弦楽団は地域に根付いた団体となったようで、毎年このコンサートも集客がある程度見込めるようになってきた。 今回は、プロのソプラノ歌手五十嵐尚子氏をゲストとして初めて招へいし、出演してもらった。公演は二部構成となっており、第一部では、五十嵐氏のアリアに当楽団が伴奏をおこない、第二部では、映画主題歌を中心に演奏をおこなった。
<交流・発信事業> 北区少年少女合唱団(練習)	月2から3 回実施 全29回		北区在住の 小学1年生から 中学2年生 まで 無料	延べ 346人	子どもたちに合唱の楽しさや、声をそろえて歌うことの素晴らしさを知ってほしいという考えから、平成24年度に北区文化会館主導で結成された合唱団。 現在、団員は20名程度。指導者にプロ歌手(五十嵐尚子氏、長川慶氏)を招へいし、練習を重ね、北区文化会館事業に出演するなど、今後の活動が期待される。
<会館利用推進事業> 私もピアニスト	4月23日 (火曜) から 平成26年 2月20日 (木曜) 計10日間		公共の施設を借り、ピアノ演奏をされている方、ピアノ教室関係者 無料	141人	プロの演奏家と同じ舞台にたち、参加者がプロのピアニストになったような気持ちで演奏体験してもらった。申請時と利用前に舞台のマナーを参加者に伝えることで、舞台上をより特別な場所として意識してもらえよう配慮した。 参加者の感想も概ね良好であった。さらに、北区以外(五泉市、田上町など)からの申込者もあり、北区文化会館のホールの魅力を区外の方にも体験してもらった。

事業	実施日	会場	対象	入場者数	内容
＜普及・育成事業＞ アウトリーチ サクソ	4月25日 (木曜)	豊栄児童センター	地域住民 参加費100円	55人	開演時刻を午後4時30分としたため、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の地域の方々が集まってくれた。 1時間程度の公演は、講師の佐藤隆雄氏のサクソの演奏とトークという構成であった。トークの内容が音楽史にまで至ったため、少し硬い雰囲気となってしまったが、来場者の評判は概ね良好であった。
	4月26日 (金曜)	岡方第一小学校	岡方第一小学校生徒、 保護者、先生 参加費100円	125人	岡方第一小学校で、初めてアウトリーチの公演をおこなった。 公演では、大・中・小の大きさのサクソを吹き比べて、音の違いを感じてもらった。生徒たちは、音の違いに歓声をあげて驚きをあらわしていた。今回の公演が、生徒たちにとっては非常に貴重な体験になったと思われる。
		若草寮	若草寮生 地域住民 参加費100円	20人	若草寮生と地域の方々が集まってくれた。 佐藤氏の演奏に合わせて声を出したり、身振り手振りで体を動かすなど楽しんでもらうことができた。また、来場者が実際にサクソを吹いてみるという体験もおこなった。有意義な体験になったと思われる。
＜普及・育成事業＞ アウトリーチ 邦楽	5月30日 (木曜)	早通南小学校	早通南小学校生徒、 先生、保護者 参加費100円	112人	早通南小学校で初めてのアウトリーチ公演をおこなった。 今回は、生徒数の関係から5年生のみの参加となった。 演奏は、尺八が坂田誠山氏、箏が木村玲子氏であった。 構成は、前半に童謡やジブリ関係の曲を両氏が演奏し、後半は尺八や箏の演奏を生徒たちが体験するというものであった。生徒たちは、演奏を熱心に聴き、尺八・箏の演奏体験も楽しんでた。
	5月31日 (金曜)	岡方第二小学校	岡方第二小学校生徒、 先生、保護者 参加費100円	103人	体育館ではなくプレイルームという教室2つ分程度の部屋に、全校生徒が一堂に会し、坂田氏の尺八と木村氏の箏の演奏に聴き入っていた。 楽器の演奏体験の際には、生徒が演奏する尺八と箏の音で会場が、大きな音に包まれてしまう場面もあったが、生徒たちは貴重な体験ができたようであった。
		豊栄南小学校	豊栄南小学校生徒、 先生、保護者 参加費100円	73人	尺八や箏の楽曲は、あまり聴きなれないもののため、聴いている側の集中が途切れがちになるおそれがあったが、豊栄南小学校の生徒は集中を切らさず聴いていた。 また、保護者の参加も多く、音楽への関心のみならず、子どもたちや学校に対する関心の高さも垣間見ることができた。
＜普及・育成事業＞ アウトリーチ 能楽	6月13日 (木曜)	ショートステイ 藤の木 の里	施設利用者 参加費100円	40人	参加者は、施設を利用している方々で、まず3人の講師のうちの高井松男氏が解説し、栗林祐輔氏と大山容子氏は笛・小鼓の演奏指導をおこない、参加者が演奏体験をするという方法をとった。 その後、高井氏が歌い、栗林氏・大山氏が笛・小鼓をそれぞれ演奏した。会場では、明るい笑い声も響き、参加者も概ね楽しんでもらえたようであった。
	6月14日 (金曜)	葛塚中学校	葛塚中学校生徒、 先生 参加費100円	112人	能楽は能書きよりも体験してもらったほうがより理解してもらえるという講師の高井氏の意向により、小鼓や能管、すり足といったものを全員が体験した。生徒たちは初体験のものばかりで、動作や楽器の音が鳴るたびに歓声があがるなど、日常とは少し違った時間を楽しんでいた。
		南浜中学校	南浜中学校生徒、 先生 参加費100円	119人	葛塚中学校での公演と同様。

事業	実施日	会場	対象	入場者数	内容
＜普及・育成事業＞ アウトリーチ ドラム	9月12日 (木曜)	木崎コ ミュニ ティセ ンター	地域住民 参加費100円	59人	講師は、ジャズドラマーの中村達也氏と花岡英一氏の二人。中村氏は素晴らしい演奏はもとより、ユニークな話術で会場を沸かせていた。また、バラフォン(アフリカの打楽器)やスチールパン(ドラム缶をくりぬいた楽器)などのめずらしい楽器も演奏され興味深かった。 平日の日中ということで、参加者数が今一つ伸びなかったが、参加者は概ね満足していたようであった。
	9月13日 (金曜)	濁川保 育園	園児、保育 士、保護者 参加費100円	152人	中村氏が持参したバラフォンや、一見楽器に見えないような楽器の演奏を体験した子どもたちは、大興奮であった。また、講師の呼びかけに園児たちも大声で応え、大いに盛り上がった。
		岡方中 学校	岡方中学校生 徒、先生、保 護者 参加費100円	95人	ドラムを中心にバラフォンやスチールパン、ジャンベといっためずらしい打楽器や、一見すると楽器とは思えないような奇妙な形の打楽器などを駆使した演奏で、参加者の目と耳を魅了した。体ごとで感じる打楽器の音は聴く人を無我夢中にさせるもののである。